

河合文化庁長官

関西地区執務の拠点

京都国立博物館に「文化庁長官室分室」開設



椅子に座り抱負を語る河合長官

国民にあります。つまり、私は今まで、奈文研の役員として、そのようなふたつの目はうつてから、関西に持つて来てほしいという話がありました。それに合わせた訳でないのに喜んでもらい有り難い事です。博物館も

駐する。この日、銭谷文化庁次長、興膳京都国立博物館長立ち合いのもと、分室の看板掲げが行われた。同博物館の改築に伴い、5月以降は旧東山区役所に仮移転する。河合文化庁長官「非常に有り難い事です。正直なところ僕は関西の人間ですから、こちらの方もらばかり来るのではと思つて考えて下さった事かもしませんが、関西の受け止め方は『関西も認めてもらつた』と思つたより反響が大きく、一極集中でなくて、こちらの方も考えてもらつていて、『えらい喜んでいるの』で、私もよかつたと思つています。折角だから関西に分室があるということがアピールできるような事を考えなさいと言つていて、そこで、それを活かしていこうと思つています。昔、せめて文化庁ぐらい文化だから関西に持つて来てほしいという話がありました。それに合わせた訳でないのに喜んでもらい有り難い事です。博物館も

1月25日

「分室」の看板を掲げる河合長官(左)興膳京博館長

